



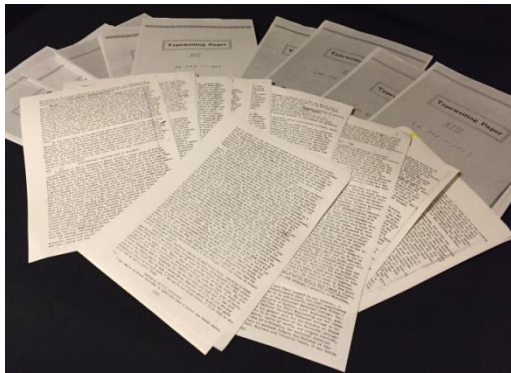
# My Small Steps from Hiroshima

## こうしてヒロシマは世界発信されていった～小倉馨の日記より～

放送：8月6日(土) 前9:10～9:59(仮) ほか  
(BS1でも9月以降に放送予定)

広島で幼くして被爆し、白血病で亡くなるまで病床で鶴を折り続けた佐々木禎子さん。戦後、禎子さんのエピソードが海外に広まるきっかけを作ったのが、小倉馨(1920-1979)である。

日系2世としてアメリカで生まれた小倉は、戦後、広島に移り住み、広島市の職員として海外から訪れる要人やジャーナリストの通訳などを務めながら、原爆の被害の悲惨さを積極的に紹介し続けた。原爆による惨禍を世界に伝えたオーストリアのジャーナリスト、ロベルト・ユンクには、自らが被爆者への聞き取りやリサーチを行ってとりまとめた800ページを超える資料を送った。多くの被爆者への取材は小倉の人生そのものに大きな影響を与え、ヒロシマを世界に発信する原動力となっていく。



番組は、最近になって見つかった小倉の自筆資料や日記のほか、海外との交流などを丹念にひもときながら、再現ドラマも交えて、「ヒロシマの惨禍」がどのように世界へと発信されていったのかを追っていく。

NHKワールドTVでは、8月、戦争と平和を考える番組を集中的に放送します。

○NHK NEWSLINE 原爆の日特番「長崎からのメッセージ」9日(火) 前10:45～11:30(仮)

平和祈念式典の中継のほか、現地からのレポートやスタジオ解説などで、長崎からの平和への願いと世界の核廃絶・核軍縮への道のりについて伝える。

○HIROSHIMA LOST ～核の時代が始まった日～

7日(日) 前8:10～9:00 ほか

被爆者が自ら制作したドキュメント映画に、証言やCGなどを加え、原爆の悲惨さを世界に伝える。